

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和3年3月17日（水）

2 出席者 20名

(1) 特別委員会委員 7名

(2) 説明員

ア 茨城県 3名

県民生活環境部長、県民生活環境部 次長、県民生活環境部 廃棄物対策課 課長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 1名

副所長兼技監兼施設課長

ウ 日立市 5名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

3 会議概要

茨城県から説明を受け、質疑を行った。なお、説明の内容及び委員からの主な意見は、次のとおりです。

(1) フォローアップ説明会の実施結果について

整備候補地周辺の4学区及び市民全体を対象としたフォローアップ説明会の実施結果について報告があった。(実施回数：8回、参加人数：437名)

■ 委員の主な意見

ア 委員：住民説明会における、中丸団地北側入口道路と新設道路の立体交差化や中丸団地の西側を通過はどうかという意見に対して、どのように考えているのか。

回答(県)：中丸団地北側道路との交差部分については、立体交差による整備を検討していきたい。団地の西側を通るルートについては、複数のルートを検討する際に、高速道路が近くを走っていること等を考慮し、今回のルートを選定している。

イ 委員：中丸団地の住民向けに説明会を開催する考えはあるのか。

回答(県)：今回お示した道路のルート案及び県の対応については、資料を県のホームページや各コミュニティで閲覧できるようにするほか、広報用のチラシを全戸に配布し、理解を深めていただきたいと考えている。

ウ 委員：地質・水質調査の結果について、分かりやすく説明してほしい。

回答(県)：整備候補地の地盤は、掘削が難しいほど硬質な石灰岩と粘板岩の岩盤であり、地盤として堅固であると考えられる。また、地下に大きな空洞が存在する可能性は低いとの調査結果が出ている。

エ 委員：市民に愛されている鮎川については、きれいな水質を保全していきたいと願っている。そのためにも護岸を徹底的に点検・整備してほしい。

回答(県)：護岸整備については、これまでも地元からの要請を受けて対応しており、今後は、豪雨災害を想定した護岸の詳細調査について検討したい。

オ 委員：住民説明会では、工事期間中の車両の通行や安全性について、朝の通勤、通学の時間帯だけではなく、学校の下校時間帯も心配する意見が出ていたが、どのように考えているのか。

回答(県)：工事車両が通行できない時間帯を設けたり、交通誘導員を配置するほか、県道37号の西側からの搬入を検討するなど、車両の分散化等も図っていきたい。

カ 委員： 県道37号は非常に狭く起伏があり、カーブも多いため、安全性を不安視する声が多い。具体的な整備内容を教えてほしい。

回答(県)： 急カーブやクランク箇所の局部改良や待避所の設置により、対向車が見やすくなるよう整備を進める予定である。

キ 委員： 最終処分場の全体像が分かる鳥瞰図のようなものをできるだけ早く示してほしい。

回答(県)： 前向きに検討させていただきたい。

(2) 新産業廃棄物最終処分場整備に関する水文調査について

整備候補地内の地下水の分布状況及び周辺の表流水との関連性について調査を行い、これにより得られた基礎情報を踏まえ、施設の配置計画や地下水集配水設備の規模・構造等を検討する旨の説明があった。

(3) 新産業廃棄物最終処分場整備に向けた県の取組の広報・啓発について

新処分場整備の必要性、住民意見を踏まえた新設道路整備などの県の対応策について、市報への折込チラシや市内全学区コミュニティへの配布・回覧により広報・啓発し、住民不安の解消に努め、理解を深めていただきたい旨の説明があった。

(4) 請願等の表決

現在、継続審査中である2件に加えて、今回、新たに付託された1件の計3件について審査し、採決の結果、それぞれ全会一致で継続審査と決した。なお、請願等の趣旨(願意)及び継続審査とした理由は、次のとおりです。

ア 新産業廃棄物最終処分場整備候補地を撤回し、自然環境、生活環境、道路交通の安全を守ることを求める請願【継続審査中の請願】

《請願の趣旨》

「日立市は、県に対して、処分場整備の要請を受けないと回答すること。」及び「市主催の意見聴取の会やアンケート調査などを実施すること。」を、日立市議会として、日立市に要請してほしい。

イ 諏訪地区への県営巨大産業廃棄物最終処分場の建設に関する請願【継続審査中の請願】

《請願の趣旨》

日立市議会として処分場建設に反対の意思を表明し、日立市長、県知事及び県議会議長へその旨を伝えてほしい。また、日立市議会としても意見聴取の会を開き、市民の意見を集約してほしい。

ウ 2021年2月15日開催の日立市議会新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会に茨城県が提出した「新産業廃棄物最終処分場整備に向けた課題への対応策について(令和2年3月、茨城県)」の取り扱いに関する陳情【今回付託された陳情】

《陳情の趣旨》

2021年2月15日開催の特別委員会に茨城県が提出した課題への対応策は中間説明書であり、これをもって処分場整備の受入れを判断せず、速やかに「市民の意見を聞く会」を23小学校区単位で開催し、課題への対応策に関して十分に市民の意見を集約してほしい。また、「フォローアップ説明会」の開催について、十分な日数を確保するよう茨城県知事へ働きかけてほしい。

エ 継続審査とした理由

現在審議中の様々な課題に関わるものであり、引き続き、なおよく精査する必要があることから、継続審査とした。